

**「炎症性腸疾患（広義）における好塩基球の役割について」  
のお知らせとお願い**

1. 研究の対象

平成 28 年 4 月から平成 29 年 9 月 30 日までの間に、防衛医科大学校病院において潰瘍性大腸炎・クローン病・虚血性腸炎・感染性腸炎の診断で受診された患者さんのうち、平成 22 年 4 月から平成 29 年 9 月 30 日までの間に下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）を受けて生検組織を採取されたことのある患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

大腸炎には、炎症性腸疾患といわれる潰瘍性大腸炎・クローン病の他、虚血性腸炎、感染性腸炎などが知られており、特に炎症性腸疾患に関しては、その原因には様々な要素が考えられています。この病気の原因追求と今後の新しい治療に関する研究を当科で行っています。特に今回の研究では、今まであまり注目されていなかった、腸管粘膜における好塩基球の発現、誘導物質の検討を予定しています。

皆様から得られた内視鏡下生検組織の一部に対し、好塩基球を特異的に染色する免疫染色により、どの程度好塩基球が浸潤（粘膜の中に存在）しているのか、その割合と疾患との関連性を検討する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：下部消化管内視鏡時に採取した生検組織の固定標本

情報：病歴、血清炎症マーカー（CRP）、内服・注射による治療歴、副作用の発生状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院 内科（二）

研究責任者 穂苺 量太  
分担研究者 渡辺 知佳子  
分担研究者 因幡 健一  
TEL : 042-995-1511 (内線 2369)